



用語	説明
<p>く</p>	
クォータ制	差別是正に関する特別措置の具体的・積極的方策のひとつ。割り当て制。
クラウドワーク	個人がオンライン上で直接仕事を受発注する新しい働き方。
グリーンジョブ	<p>環境への負荷を持続可能な水準まで低減させながら、事業として採算がとれる仕事。国際労働機関（ILO）が提唱。環境保全と雇用創出の両面で効果が期待できる。再生可能エネルギーや廃棄物管理システムの設計・建設、環境に優しい輸送システムの開発、製造業における部品・材料の再製造、エネルギー効率の高い建物の建設、廃棄物の回収・処理・再利用等の産業が挙げられる。</p> <p>例えば、ブラジルではバイオマセタノールの普及促進で2006年に50万人以上の雇用を創出。中国では太陽熱システム製造で2005年に60万人の雇用を創出している。</p>
グリーンファイナンス	<p>環境的に持続可能な開発に向けて、環境に良い効果を与える投資へのファイナンスのこと。環境的便益の例としては、空気や水・土の汚染除去、温室効果ガス排出量削減、エネルギー効率改善、自然資源の活用、気候変動の緩和と適応等、多岐にわたる。グリーンファイナンスはまた、環境に良い投資を増やし、環境に悪い投資を減らすために、環境リスク等の情報を投融資等の判断プロセスに統合することも含まれている。2016年9月のG20杭州サミット後に発表された首脳声明で、グリーンファイナンス拡大の必要性が確認された。</p>
クローズド・ショップ制	特定の組合の組合員しか採用してはいけないとするもの。日本ではまずない。
グローバリズム	<p>主には、多国籍企業が国境を越えて世界的規模で経済活動を行うことをいう。近年ではアメリカ合衆国による世界の民主化、画一化、市場化をさすことが多い。これはしばしば各国の独自の慣習と衝突するものとして批判され、国際会議の折などには反グローバリズムのデモが行われることがある。</p>
グローバル化（グローバリゼーション）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球規模で人・物・金・情報が自由に移動する時代・世界をいう。一般に、資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や、海外への投資が増大することによって世界における経済的な結びつきが深まることを意味する。 ● グローバル化を最大限に利用するために、多国籍企業は、生産活動を規制が最も少なく、賃金が最も安い国へと移しつつあり、これによって各国間の格差、国内の社会格差が広がっている。グローバル化は主に、自由貿易協定、規制緩和、リストラ、自由化、構造調整プログラムなどにより進め

		られる。
グローバル労組アライアンス 		<ul style="list-style-type: none"> ● UNIは同一多国籍企業の様々な国の労働組合、(組合未結成の場合は)労働者が協力・連携するための国際ネットワークづくりと、定期的な情報交換を奨励している。グローバル労組アライアンスの定期会合では、各国で発生した問題点を洗い出し、UNI及び本社所在国の労働組合が中心となり、本社経営陣に、問題解決に向けた建設的な対話を行う。
グローバル(枠組み)協定 	GFA(ジー・エフ・エー)	<ul style="list-style-type: none"> ● 一国の一企業内労使で労働協約を結ぶように、様々な国で事業展開する多国籍企業との間で、UNI(及び当該企業の組合や産別組織)が結ぶ枠組み協定。これを結んだ多国籍企業はどの国で事業を行う場合にも、その合意内容の遵守を公約することになる。内容は、人権・労働者の権利を遵守すること、労働組合を承認すること、児童労働・強制労働を使用しないこと、などを含む。UNIはこれまで50社以上と締結。 ● 日本の企業としては、2008年11月に株式会社高島屋との間に初のGFAを締結し、2014年11月にはイオン株式会社との間に締結した。